

ひろげる・つなぐ・かえる

2010

6



木のぬくもり...
丸太いすに座って
本選び。



ビデオも
貸し出ししています。



雑誌の閲覧も
できます。



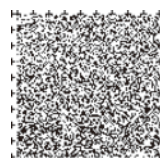
NPO 関連の
資料や本。



今月は、
こんな本が
入りました。

「みえ県民交流センターの図書コーナー」

下の模様は SP コードと呼
ばれるバーコードで、専用
の読取機で音声を聞くこと
ができます。



縦型組織と市民ネットワークの
ギャップ

特定非営利活動法人 みえ防災市民会議 議長 山本康史

先日、防災ボランティアがテーマの会議で内閣府の担当者と議論する機会を得た。

議論のテーマは東南海・南海地震のような超広域災害で全国的な支援のネットワークをどのように構築するかだったが、そこで内閣府の方は「ボランティアの力が被災地で活かされるよう国もバックアップをしていきたいが、誰を窓口交渉すればいいか明確でない。NPOのみなさんの中で国の窓口をもってほしい」と切り出した。

確かに国という立場では、災害時に星の数ほど生まれるであろうNPO団体一つひとつと個別に対応している訳にはいれないから、代表的な人もしくは団体が出てきてほしいという考えは理解できる。しかし、私はその意見に違和感を感じる。彼は無意識のうちに、行政の縦型の価値観を市民社会に押しつけようとしていないだろうか。

行政では、国の判断が県、市町と広がって実施されていく縦型、一般的にはピラミッド型といわれ、意思決定する国の担当者は少数で、それが多くの市町に伝達されて各所でかなり均質なサービスが実施される。

一方、市民社会ではまず被災者個人のニーズから活動が生まれ、それを支えるボランティアは空間が広がるごとに多様化していく。つまり、被災者個人から被災地、県、国と範囲を広げるにつれて多彩な担い手が増え、不均質だが被災者に寄り添った独自の活動が各所でそれぞれの主体性において行われる。それらはたった一本の綱（リーダー）でまとめられるものではなく、それぞれが伸ばした手がつながり合った、脳細胞のシナプスネットワークのような形になり、縦型組織とは異なる形になると私は思っている。

もちろん、超広域災害で市民と国が手を取り合って活動する場面は必ずある。だからこそ、それぞれの組織が互いの特性を理解しあい、自分たちの常識を押しつけ合わない、ふさわしい連携方法を探していく必要があるだろう。

助成金情報



市民活動



環境



市民活動

市民活動推進事業

受付期間 6月4日(金) 必着

①市民活動推進部門

自治会や市民活動団体が取り組む、公益的な活動に係る経費を支援します。

対象団体 津市内で自主的な活動をしている自治会や市民活動団体（個人による活動は除きます。）

対象活動 自治会や、市民活動団体の方が主体的に取り組む、公益的な活動

助成金の額 活動に要する経費の2分の1の額で、30万円を限度（原則として、飲食費、人件費などを除きます。）

②市民活動団体設立等支援部門

NPO法人の設立、公益的な活動を行う市民活動団体の設立に係る経費、また、設立後、1年を経過していない市民活動団体の運営にかかる経費を支援します。

対象団体 津市内に活動の拠点を置く次のもの。

- (1) 本年度内にNPO法人の設立登記が完了する予定の市民活動団体
- (2) 2人以上の構成員で市民活動団体を設立しようとするもの、または、2人以上の構成員を有し、設立後1年を経過していない市民活動団体

助成金の額 (1) NPO法人設立に要する経費の2分の1の額で、10万円を限度
(2) 団体の設立などに要する経費の2分の1の額で、10万円を限度

(原則として飲食費、人件費などを除きます。)

応募方法

事業提案書に必要事項を記入し、津市政策財務部政策課、または、津市市民部市民交流課へ持参、郵送、Fax、E-mailのいずれかでご提出ください。また、各総合支所地域振興課（久居総合支所は生活課）へもご提出いただけます。事業提案書は、津市ホームページからダウンロードできます。

問い合わせ先

〒514-8611 津市西丸之内 23 番 1 号

津市政策財務部政策課 (4 階)

Tel 059-229-3296 Fax 059-229-3330

E-mail 229-3101@city.tsu.lg.jp

津市市民部市民交流課 (1 階)

Tel 059-229-3252 Fax 059-227-8070

E-mail 229-3110@city.tsu.lg.jp



市民活動

「新しい世紀の社会づくり」をテーマとした市民活動助成

受付期間 7月30日(金) 必着

対象活動 市民活動、または催し物等の事業

(既に終了した活動・事業については含みません。)

助成金の額

原則として1件当たり100万円を上限としますが、助成額については活動内容、及び規模により査定をさせていただきます。

応募方法

当財団所定の申請書に必要事項を記入の上、当財団宛にご送付ください。

(紛失等のトラブルを避けるため、なるべく書留

自分がそだち
人がそだち
組織がそだつ



— ブログ、告知、企画書が劇的に化ける! —

伝わる文章が スラスラ〜と書ける・勉強会

最低限のルール・コツ・配慮を知るだけで、ブログや、告知、企画書など、文章が驚くほど変わります。この勉強会は、練習問題を活用し、「遊びながら解いていく」ため、スキルアップに役立ちます。さあ、文章が苦手な皆さん、お集まりください!

日時 【その1】6月22日(火) 19:00 ~
【その2】6月29日(火) 19:00 ~
※終わりの次第終了(およそ1時間 30分) ※2回目からでも参加可能。
※3回目以降の日程は後日決定。
場所 「ぴのまち cafe」(松阪市日野町 788 カリヨンプラザ 1F)
参加費 1回: 1,500 円
募集人数 10名

応募締切 6月7日(月) 午前中 ※定員になり次第、受付を終了。
問い合わせ先 パソコンか携帯のメールでお申込みください。「伝わる文章勉強会・参加希望」の件名で、「氏名・年齢・職業・住所・TEL・希望日」の6点を下記までご連絡ください。
(特活) Mブリッジ (担当: 米山)
E-mail yoneyama@ma.mctv.ne.jp
ホームページ <http://blog.goo.ne.jp/chi-navi/>

や宅配便でお送りください。)
※より多くの団体に助成金をご利用いただくため、過去に当財団の助成を受けられた団体の応募はご遠慮いただいております。
※助成が決定した活動・団体につきましては公表いたします。
※助成年度もしくは事業完了後に「完了報告書」を提出していただきます。

問い合わせ先 財団法人 ユニバール財団
〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-14-8
YPCビル 5階
Tel 03-3350-9002 Fax 03-3350-9008
E-mail info@univers.or.jp
ホームページ <http://www.univers.or.jp/top.html>

環境

TOTO 水環境基金

このプログラムは、水と暮らしの関係を見直し、再生することをめざした創造的な取り組みに助成します。これからの水と暮らしの望ましい関係を考え、それぞれの地域の特徴を活かした、新しい仕組みや事業を創りだす契機となることを期待します。

受付期間 5月1日(土) ~ 6月15日(火) 必着
対象団体 1. 営利を目的としない市民活動団体
2. 地域(日本国内)に根ざした活動をしている団体、または日本国内に本部を有する団体で、海外に支部(現地拠点)あるいは現地カウンターパート(現地 NGO など)を有し、現地スタッフが活動している団体
3. 目的や内容が、特定の宗教や政治などに偏っていない団体
対象活動 ・地域の水と暮らしの新しい文化の実現に向けた実践活動
・地域の水と暮らしの関係についての調査研究活動
助成金の額 助成総額は約 1,000 万円、助成件数は 10 件程度を予定しています。
※詳細はホームページ参照
助成期間 2010 年 10 月 1 日 ~ 2011 年 9 月 30 日までの 1 年間。
応募方法 応募書類(所定の書式)に必要な事項をご記入の上、郵送または宅配便にてお送りください。書類はホームページからダウンロードできます。
※応募用紙の郵送をご希望される場合は、Fax にてお申込みください。
<Fax 記載項目>郵便番号・住所、団体名、ご担当者名、電話番号

問い合わせ先 TOTO株式会社 総務部 社会共生グループ
担当: 清水・曾根崎
〒802-8601 北九州市小倉北区中島 2-1-1
Tel 093-951-2224 Fax 093-951-2718
ホームページ
<http://www.toto.co.jp/company/mizukikin/oubo.htm>

環境

第30回「緑の都市賞」

緑の拠点づくり部門

対象団体 緑化活動団体・企業・公共団体等
対象活動 公園内や道路・河川沿いの単体の花壇や植栽帯、工場、学校、マンションや業務ビル、図書館、下水道処理場などでの緑化や緑の保全成果。

緑の地域づくり部門

対象団体 緑化活動団体・企業・公共団体等
対象活動 道路・商店街・河川沿いの連続する花壇や植栽帯、広がりのある(一団の)樹林地、住宅団地、再開発地区、複数棟で構成されるマンションや業務ビルなどでの緑化や緑の保全成果。

緑の都市づくり部門

対象団体 市区町村
対象活動 策定した緑の総合計画に基づいた市民との協働や、地域の個性を活かした緑化や緑の保全施策の取り組みなどでの成果(一部も可)。

助成金の額 内閣総理大臣賞: 活動助成金 20 万円(全部門で 1 点)
国土交通大臣賞: 活動助成金 15 万円(3 点以内)
都市緑化基金会長賞: 活動助成金 10 万円(3 点以内)
奨励賞: 活動助成金 5 万円(若干)

応募締切 6月30日(水)
応募方法 所定の応募用紙(ホームページからダウンロード)に必要な事項をご記入の上、成果が確認できる写真(10 枚以内)他、必要書類を添えて、下記宛にご送付ください。

問い合わせ先 〒112-0014
東京都文京区関口 1-23-6
プラザ江戸川橋 3F 310 号室
財団法人 都市緑化基金内「緑の都市賞」係
Tel 03-3235-8065 Fax 03-3235-8067
E-mail midori-info@urban-green.or.jp
ホームページ <http://www.urban-green.or.jp/>

NPO から寄せられた募集とご案内

「障害」の種別や程度をこえて集まろう

三重県「障害」当事者の集い in 松阪

日時 6月6日(日)

場所 松阪市産業振興センター 3F
研修ホール(松阪市役所そば)

内容 ◆プレイベント◆

映画「こんちくしょう - 障害者自立生活運動の先駆者たち -」上映(字幕つき) 10:30 ~ 11:40

◆当事者の集い◆

(12:30 受付開始) 13:00 ~ 16:30

○精神「障害」者当事者バンド「ヒューマリズム」による演奏

○講演会: 講師 佐野武和さん(全国自立生活センター協議会 人権委員会委員長)

○当事者からのアピール、活動紹介など(販売もあります)

※参加については事前に申し込みをお願いします。

※手話通訳、要約筆記有

※当日のボランティアも募集しています!(送迎、介助、受付、道案内など)

参加費 無料

主催 「障害」当事者の集い実行委員会

問い合わせ先 〒514-0027 津市大門 7-5
(津センターパレス3階)

「障害」当事者の集い実行委員会(NPO 法人ピアサポートみえ内)

Tel&Fax 059-213-9577

090-7608-7667 (杉田)

E-mail

hiroshi217jp@yahoo.co.jp

あなたの提案を活かしませんか

「みんなで創ろう『みえの舞台』会議」委員募集!

「みんなで創ろう『みえの舞台』会議」は、県の総合計画「県民しあわせプラン」を、県民の皆さんと一緒に具体化していくための広聴の仕組みです。今年度は、第三次戦略計画(仮称)の策定に向けて、平成23年度からの4年間を見据えた県民参加の取組や仕組み等について、テーマ別に提案していただくための会議として設置し、その会議に参加していただく委員を募集します。

募集期間 6月7日(月)~6月30日(水)まで

対象者 次の条件をすべて満たす方

①平成22年4月1日現在満15歳以上の方

②県内で地域活動に携わる方(ボランティア活動や自治会活

動、企業の社会貢献活動など)

③テーマに沿って他の委員の方と前向きに議論していただける方

※詳しくはホームページ又は、お問い合わせください。

問い合わせ先 三重県政策部企画室

企画・計画担当

Tel 059-224-2025

Fax 059-224-2069

E-mail kikakuk@pref.mie.jp

ホームページ

<http://www.pref.mie.jp/KIKAKUK/>

HP/butaikaigi/index.htm

ミーティング&講座

Salon de “TRUE BEAUTY”

【気分障害の自助グループミーティング】

日時 6月11日(金)

場所 桑名市総合福祉会館

14:00 ~ 15:30

四日市総合会館

18:30 ~ 20:00

日時 6月18日(金) 14:00 ~ 15:30

場所 鈴鹿社会福祉センター

日時 6月25日(金) 14:00 ~ 15:30

場所 白子公民館

参加費 各500円

【講座】①②ともに白子駅前商店街イベントショップ

①心理学講座(17日は心理学体験)

日時 6月10日(木) 14:15 ~ 15:30

6月17日(木) 18:30 ~ 20:00

②心の病を学びませんか?

日時 「心が健康とは?」

6月10日(木) 13:00 ~ 14:00

「心の風邪って?」

6月17日(木) 17:00 ~ 18:00

「心の病の初期症状にはどのようなものがあるのだろうか?」

6月26日(土) 18:00 ~ 19:30

参加費 各講座 3,150円

問い合わせ先 気分障害の自助グループ

Salon de “TRUE BEAUTY”
(代表: 河西恭子)

Tel 090-1750-6245

(受付時間平日 10:00 ~ 20:00)

カメヤマ(株)キャンドルハウス事業部協賛

企業のCSR活動との連携!

第4回 Mブリッジ・キャンドルナイト

【第一会場】

日時 6月19日(土) 19:00 ~ 21:00

場所 「ぴのまち cafe」

(松阪市日野町 788 カリヨン
プラザ 1F)

内容 アコースティックライブも開催します。灯りと音楽とオーダードリンクで、松阪一番の癒しの夜をお過ごしください。

【第二会場】

日時 6月21日(月) 19:00 ~ 21:00

場所 「松阪市市民活動センター」
(松阪市日野町 788 カリヨン
プラザ 3F)

※ラウンジのみで点灯して開催します。

参加費 無料(ドリンクは各自で精算)

申込み 事前申込みは必要ありません。
直接会場にお越しください。

問い合わせ先 (特活) Mブリッジ(担当: 米山)
E-mail

yoneyama@ma.mctv.ne.jp

ホームページ

<http://blog.goo.ne.jp/chi-navi/>



落語&音楽療法&笑いヨガ

第1回日本笑い学会みえ

ユーモア支部笑例会「落語と音楽で梅雨の晴れ間を楽しもう!」

日時 6月19日(土)

(13:30 開場) 14:00 ~ 16:30

場所 じばさんみえ(近鉄四日市駅そば)
4階 視聴覚室

内容 ①【落語で笑いましょう】

橋元 慶男先生

(日本笑い学会みえユーモア支部支部長)

②【楽しくリズムにのって1. 2. 3. お腹の底からあ. い. う. え. お.】

「音楽療法・ワークショップ」

沢田 富士子先生

日本音楽療法学会 認定音楽療法士 他

③【笑いヨガでワッハッハ】

「Laughter(笑い) Yoga リーダー養成講座」の案内も当日、紹介します。

講師は、Dr. Kataria School of Laughter Yoga 認定教師の橋元支部長です。

参加費 800円(会員は無料)

事前申し込み不要。

問い合わせ先 E-mail

fu-min.64@s6.dion.ne.jp

Tel & Fax 059-232-6409
(中村ふみ)

ドイツ料理に挑戦!

「夏のドイツ料理教室」

日時 6月20日(日) 13:30～15:30

場所 アスト津5階「食工房」
(津駅東口隣接ビル)

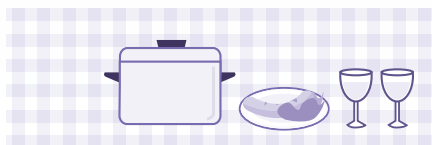
参加費 材料費と会場費の実費

内容 講師 浦崎弥生
(ドイツ滞在歴16年)
豚肉を使ったドイツの料理に挑戦します。フランクフルトの緑のソース、キャベツサラダ、豚ひれ肉のプラム巻き、じゃがいもピューレ添え、白ワインクリームエプロン、台布巾、皿布巾

申込み 6月16日(水)までに、電話またはEメールでお申し込み下さい。

主催 三重日独協会

問い合わせ Tel 059-232-0594
(担当/向井明子)
E-mail
am.deutsch1685@gmail.com



映画上映と話し合い

ムーブメント平和への希望 2010.6月例会

阿木幸男著・世界を変える非暴力(現代書館)に添えられたオリジナルDVDの上映。鑑賞後、非暴力について話し合う。

日時 6月26日(土) 13:30～16:30

場所 みえ県民交流センター
ミーティングルーム
(アスト津3階)

内容 上映作品『世界を変える非暴力』
ガンジーとキング牧師の行動ドキュメンタリー

参加費 500円(チェルノブイリ支援

コーヒー付き)
※事前申し込み不要

主催 平和憲法を世界に広げるネットワーク in 三重

問い合わせ Tel 090-6807-1089(柴田)
E-mail
smiff@nifty.com(林)

環境ボランティア活動

第13回環境ボランティアリーダー 海外研修参加者募集!!

ドイツ国内最大の環境団体や関係機関を訪問し、実際のプログラム参加を通し、資金調達、人材育成に焦点を当て研修を行います。

研修期間 10月12日(火)～10月21日(木)
までの10日間(予定)

参加費 研修における渡航費、宿泊費及び10日間のプログラム参加費は、当財団が負担。
(詳しくは問合せ)

募集人員 5名

応募書類 ①課題作文
②エントリーシート(所定のフォームのみ有効。下記ホームページよりダウンロード)
③ご自身が今までに取り組んできた活動等の資料
※応募条件:課題作文等、ホームページ参照

募集締切 6月30日(水)(消印有効)
※応募書類は、郵送もしくはEメールで送付。

問い合わせ セブン・イレブン記念財団
海外研修事務局 担当:小野
〒102-8455
東京都千代田区二番町8-8
Tel 03-6238-3872
Fax 03-3261-2513
E-mail kensyuu13@7midori.org
ホームページ
http://www.7midori.org



青少年育成

第11回 佐々木 正美先生講演会 —発達障害児の思春期に向けて—

思春期は心の発達と身体の成熟のバランスを保つのがとても難しい時期。性の問題、精神衛生の問題、障害の受容と告知の問題等、取り上げればいくつかわ考えられます。発達障害を持った子どもたちがこの多感な思春期を少しでも安心して過ごせる為の途切れない援助やサポートとは何か、またどのような事に心掛けて養育をしていけばよいのかについてお話をさせていただきます。

日時 7月11日(日) 10:00～16:00

場所 伊勢市観光文化会館4階 大会議室
(伊勢市岩淵1-13-15 近鉄宇治山田駅正面)

参加費 前売り:2000円 当日:2200円

申込み 7月9日(金)までに郵便局の払込書にて、下記郵便振替口座に聴講料を振込み。受領書を聴講券とし、当日受付にてご提示下さい。

郵便振替口座:00870-0-124326
加入者名:佐々木正美先生講演実行委員会

問い合わせ 「風の広場」

伊勢市御園町高向682

Tel & Fax 0596-29-0325

問い合わせ時間

12:30～14:00 17:30～19:00

(第2・4・5土日、祝日は休み。平日でも不在あり。)

【お願い】

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご留意のうえ、積極的なご活用を期待しています。

- (1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までにお送りください。
- (2)送付はE-mail(ない方Fax)で。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

E-mail center@mienpo.net

Fax 059-222-5971

転載を希望される場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえNPOセンター・ワークスコープ」に連絡してください。

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(担当 松川)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重銀行

株式会社、社団法人等の法人設立から許認可手続まで

NPO・社会福祉法人設立

事業報告、各種変更届等の作成もお手伝いします。

フリーダイヤル 0120-406-414

奥島要人行政書士事務所(本町総合事務所LLC内)
三重県津市本町14-18 URL www.e-houmu.info

理念と歩みから学ぶ NPO物語

NPO STORY

Vol.14

組織にスポットライトをあて
三重県内の市民活動団体を
紹介していきます。



四日市NPOセクター会議
議長 松井 真理子

協働を支える新しいタイプの 中間支援組織として

バラバラでは、存在感を示すことはできない

四日市NPOセクター会議（以下、「セクター会議」と略）創設の経緯と目的をお聞かせください

NPOには人件費が認められないとか、行政の理解がないとか、NPO側はいろいろ不満を持っていますが、ただ不満を言っているだけでは何も変わりません。この声を対外的に届けなければならぬのですが、残念ながら、NPOはこれまでバラバラで行動していました。個々のNPOがバラバラに行政にねじこんでいっても、行政も対応に困るだけですし、第一、弱小なNPOがバラバラでは、存在感を示すことはできません。

私たちNPOは、共通する課題で連携し、戦略的に共通の利益を実現させていかなければならないと思います。ですから、できるだけ多くのNPOが集まり、集団として行動するための組織が必要だと考え、2005年夏に設立に向けた調査からスタートしました。

調査をしてみると、NPOはたくさん抱えていることがわかりました。これを改善しようとなると、NPO自らがやるべきことも多いですが、行政等の仕組みを変える必要もあります。これをやるには、「NPOセクター」を意識した、セクターを担う存在の連帯による、力強い推進組織がなければ、実現は困難です。

NPOセクターが力強くなることは、サービスを受ける市民の方々にとってもいいことですし、「新しい公共」を掲げる行政にとってもいいことではないかと思います。

直に政策の話ができる場

行政とのかかわりは？

いろいろな準備を重ねて、2006年3月にセクター会議はスタートしました。当初から今日までほぼ毎月続けているのは、「四日市市民協働研究会」です。これは、四日市の市民セクターの活性化のためのしくみの研究を行う会議体ですが、当初はNPOと議会との共同研究会として始まり、2007年7月からはNPO担当課や政策課など行政の方々も参加していただけるようになりました。

2008年の四日市市制111周年記念事業としての「市民活動フェスティバル」を委託されたり、2009年度に四日市市が創設した地縁団体とNPOによる「まちづく



市民協働研究会の研究成果（市民協働促進条例づくり）を市長（当時）に提言

りパートナー会議」のNPO側の窓口を依頼されたり、現在策定中の四日市市総合計画への意見を求められたり、行政からの認知はかなり進んできたと感じています。

お互いに学びあい、良い方向に向かいたい

セクター会議としての強みは？

多様なNPOが連携することで、お互いに助け合ったり、市民に対して質の高いサービスが提供できることです。これまで、セクター会議のNPOが順番に講師となって、市民向けのNPO講座を行ってきました。市民だけでなく、NPO相互に学びあうよい機会になったと思います。

また、子ども関係のNPOが共同で「子どもの人権」、福祉や男女共同参画のNPOが共同で「暮らしの中の人権」など、市民に対して人権講座を行っています。各NPOが行っている物品販売などを、相互に利用し合うということも行っています。



市内NPO代表が順番に講師を務める「NPO実践講座」

NPO 百貨店の開設

何か戦略としてお考えのことはありますか？

現在 44 団体が会員となっています。NPOセクターとしての発言力や存在感を高めるためには、もっと会員団体を増やしたいのですが、会員になるにあたっては、「セクター」としてまとまることの意味を納得していただかなければなりません。

NPOの発言力を高めるとか、政策に意見を反映させるということは大切なことですが、そのような抽象的なことだけでは十分ではないのです。NPOがセクターとしてまとまることで、自分たちの団体に仕事が来るとか、HPのアクセスが増えるとか、もろもろのメリットを感じてもらうことが、セクター会議を発展・継続させていくうえで必要だと感じています。

また、地域の中では、市民の方はまだまだNPOのことをほとんど知りません。行政や企業も、最近はNPOと協働して事業をやりたいが、どんなNPOがあ

るか知らないという話も聞きます。これらを見ていると、もっとNPOが何をしているかを、外に対して見える形にしたいのです。それも堅苦しいのではなく、楽しい形で。

そうすれば、NPOが何をしているかが市民に分かる、行政や企業も協働の相手方が見つけやすくなる。こう考えて、これまでのような個別NPOを丸ごと紹介する形式ではなく、各NPOのサービスをより細分化し、分野ごとのサービスを売る「NPO百貨店」を創ることにしました。もちろん、インターネット上のバーチャルな百貨店です。

例えば、一つのフロアを子どものフロアにします。そのフロアの中で、子どもの体験を提供するコーナー、お父さんのためのコーナー、お母さんの学習コーナーなど、活動内容を細分化し、各NPOのサービスの他のNPOとは異なる特徴を明確にして紹介します。

百貨店ですから、食品のコーナーやアミューズメントコーナーもあります。こんなものを作れば、市民も楽しいし、参加するNPOもメリットを感じてもらえるのではないだろうかと思っています。本年8月8日がオープンの予定です。

まとまりを大切に、強化していきたい

今後の展望はいかがでしょう？

まだまだ取り組みは始まったばかりですから、もっともっと強化していかなければいけないと思います。NPOが分野別にまとまり、行政の各分野に政策提言をしたり、審議会等にNPO代表を送り込む母体となればいいと思っています。

最近は、「行政との協働」が重要なテーマになっていますが、「協働」の重要な要素は「NPOと行政との対等性」です。ところが、サービス提供型NPOが増え、行政との契約が重要な収入源となると、NPOは行政に対して、真に対等な関係は持ちにくくなります。こんな中で、少しでも対等性を担保するしくみとして、弱い立場のNPOが労働組合的な集団をつくり、集団として交渉するのが最も合理的ではないでしょうか。

セクター会議は、協働を支える新しいタイプの中間支援組織として、今後発展させていきたいと思っています。

【データ】

四日市市萱生町1200 四日市大学9401

T e l 059-363-3539

F a x 059-255-2640

E - m a i l ssk21www@yahoo.co.jp

ホームページ <http://www.geocities.jp/yokkaichinpo/>

代 表 者 議長 NPO法人市民社会研究所

代表理事 松井真理子

団体設立年月日 2006年3月25日

会 員 数 44団体

会 費 なし

とぴくす

NPOにかかわる全国的な動きなど、お伝えしたいことを随時、取り上げていきたいと思ひます。

エクセレントNPO

最近、「エクセレントNPO」という名称を目にされた方も多いと思ひます。豊かな市民社会づくりの原動力となるような望ましい非営利組織像は「エクセレントNPO」を提起しています。

NPO、NGOの実践者と研究者によって議論を積み重ね、「社会変革」「市民性」「経営の安定性」の3つの基本条件を設定し、それを基に評価の視点等が組み立てられ、「エクセレントNPO」評価基準が公表されました。

【参照 <http://www.genron-npo.net>】

図書コーナー

県民交流センターの図書コーナー（表紙写真）では、NPO、協働、ボランティア・福祉、環境、防災など、いろいろな分野の活動に役立つ本やビデオを貸し出しています。ぜひお立ち寄りください。

～*入荷のお知らせ～

- ◆『寝ても覚めても市民活動論～ミーティングや講座の帰り道に読む35の視点～』
早瀬 昇 著 / 発行: 社会福祉法人 大阪ボランティア協会 / 発行日: 2010年3月1日
- ◆『地域におけるNPO支援10年の総括と展望～地域変革の支え手として～』
発行: 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター / 発行日: 2008年4月30日
- ◆『NPOサポート・10年の軌跡～せんだい・みやぎNPOセンター～』
発行: 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター / 発行日: 2008年4月30日
- ◆『協働の強化書～NPOと行政・企業との協働を強化するために～』
編集: 『協働の強化書』研究会 / 発行: 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター / 発行日: 2007年3月31日
- ◆『こうだったのかNPOの広報』
NHK記者 武永 勉 著 / 発行: 社会福祉法人 大阪ボランティア協会 / 発行日: 2010年3月1日
- ◆『参加と協働のデザイン～NPO・行政・企業の役割を再考する～』
世古一穂 編著 / 発行: 学芸出版社 / 発行日: 2009年10月15日
- ◆『NPOは公共サービスを担えるか～次の10年への課題と戦略～』
後 房雄 著 / 発行: 法律文化社 / 発行日: 2009年5月10日

みえ市民活動ボランティアセンターから お知らせ Tel 059-222-5995 / ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>

NPO無料よろず相談

毎回2団体先着順のため、相談日の1週間前までにお申し込みください。

【日時】 毎月第一火曜日（祝祭日の場合は翌日）

(1) 10:00～11:00

(2) 11:00～12:00

【今後の予定: 6月1日、7月6日、8月3日】

【場所】 アスト津3階（津駅東口隣接ビル）

みえ県民交流センター

【相談員】 みえ県民交流センター指定管理者

みえ NPO センター・ワーカーズコープ

グループ代表 みえ NPO センターの代表理事、同事務局長

【対象】 NPO 法人設立を考えている団体や個人、NPO・中間支援センタースタッフ、NPO・市民活動に関心がある市民など。

中間支援組織担当者ネットワーク交流会

～顔の見えるつながりを作りませんか？～

中間支援、NPO 支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合っ、意見交換する場です。参加は無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。（※隔月に開催）

【日時】 7月8日（木）13:30～16:00

表紙の写真 今月は、みえ県民交流センターの図書コーナーです。書籍や資料を貸し出し、みなさんにご利用いただいています。

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】

〈津 市〉みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 〈桑名市〉桑名市市民活動センター 〈いなべ市〉いなべ市市民活動センター 〈東員町〉とういんボランティア市民活動支援センター 〈四日市市〉四日市市市民活動センター/みえチャレンジプラザ/四日市大学 〈亀山市〉亀山市市民協働センター 〈鈴鹿市〉市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 〈松阪市〉松阪市市民活動センター/三重中央大学 〈伊勢市〉いせ市民活動センター/皇學館大学 〈鳥羽市〉鳥羽NPOネットワークセンター・結 〈志摩市〉志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター 〈名張市〉名張市市民活動支援センター/エコリポート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/皇學館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター 〈伊賀市〉伊賀市市民活動支援センター/ウィリアム・テルズ アップルまちづくりセンター/伊賀市中央公民館/伊賀市立図書館/上野青年会議所 〈尾鷲市〉東紀州コミュニティデザインセンター 〈明和町〉めいわ市民活動サポートセンター 〈南伊勢町〉南伊勢町市民文化会館 〈紀宝町〉紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】 県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】 百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】 三重県庁県民ホール/三重県地域機関（各県民センター[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野]）/三重県栄町庁舎（情報公開窓口）/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県鳥羽パート情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場

特定非営利活動法人成立団体のお知らせ

- 成立した特定非営利活動法人（登記年月日）
ジャパンサポートフォーラム（平成22年3月9日）
卓球スクールサイズミック（平成22年4月1日）
みえ防災アドバイザー（平成22年4月1日）
（平成22年4月10日～平成22年5月9日届出分）

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

健全・安心・貢献
東海ろうさん

JAバンク
三重県下JA/JA三重信連

RE70 古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。